

「(プログラム名称を記入) 参加報告書」

京都大学工学部物理工学科 1 年 (章可柔)

2017 年 3 月 5 日に韓国延世大学韓国語学堂で 20 日間留学しに行きました。

私は韓国に行った前に、韓国語はほんの少ししかできない状態でした。韓国にいた 20 日間で毎日午前で 4 時間程度の授業を受け、韓国人の先生の指導で勉強していました。言語の勉強が毎日連続で、また毎日の宿題も当日の授業内容の復習になるため、この 20 日間の勉強で韓国語能力が素早く伸ばしました。最初は字も読めない程度だったが、日本に帰る前に簡単な会話ができ、文書も読めるようになりました。

韓国での日々に韓国人と交流し、韓国の生活を身近に体験しました。韓国人は日本人と違ってちょっと騒がしく生活しています。日本人の端正をすごしかかす一方で、人情味が満ちています。どこに行っても熱心の人たちが助かってくれるし、市場が見つからなかったとき、知らないおじいさんが直接道案内してくれました。果物を売っているおじいさんもしばらくよもやま話をしました。韓国での間、たくさんの人のお世話になって、感謝の気持ちを抱きます。

延世大学のプログラムでは、韓国語を勉強するほかに、韓国語で発表することもありました。延世大学の学生たちに京都大学の生活、日本の文化や歴史を紹介しました。延世大学の学生たちが英語で韓国について発表しました。最初は韓国語が全然うまくなかったため苦労しましたが、この機会を通して韓国人の学生と知り合い、韓国への理解を一層深めました。交流の大変いいチャンスでした。その際に友達になった韓国人の先輩と今でも連絡しています。その他、プログラムの中には、ナンタ公演を見る、韓国料理を作るなど、さらに韓国に親しめる素晴らしい項目がありました。

延世大学韓国学堂では日本人学生のほか、中国人、タイ人、アメリカ人など世界各地からの学生が集まりました。そのため、クラスの中にさまざまな国の人と友達になりました。韓国だけではなく、ほかの国へもある程度理解できました。今後機会があれば、また海外交流のプログラムに参加したいです。

韓国が住みやすい国であると気づきました。日本と中国両方に近く、経済的に重要な役割を果たしています。もし可能であれば、大学院から卒業して韓国企業に就職する考えがあります。

만나서 반갑습니다.

그 동안 잘해주셔서 감사합니다.